

東南村山からおいしさを極める！ おいしい米づくり情報

第 7 号 穂 肥 編

発行：令和 5 年 7 月 3 日 発行
山形おいしさ極める！米づくりプロジェクト村山地域本部
村山総合支庁農業技術普及課
(TEL:023-621-8295)

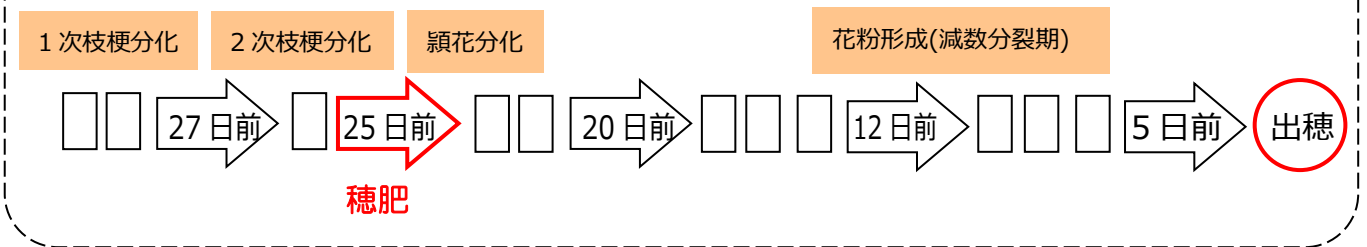
穂肥は生育診断に基づき、**適期・適量**を徹底しよう！

生育量に応じて穂肥の「時期」や「量」を加減して、良食味・高品質米を安定して生産しましょう。

効果的な穂肥時期

- ・穂肥の効果を最大限に引き出すには、施用タイミングが重要です。化成肥料を施用する場合、出穂の約 25 日前を目安に穂肥を行きましょう。（はえぬき・雪若丸）

〈幼穂形成期の発育ステージ〉



- ・出穂間際の穂肥は、玄米粗タンパク質含有率を高めて食味を低下するため、行いません。
- ・出穂 30 日以前の追肥（化成肥料）は、稲の分けつを促しますが増収効果は高くありません。

品種毎の穂肥時期・量の目安(N成分 kg(上限)/10a)

地域・品種	出穂予測	出穂 30 日前	出穂 25 日前	出穂 20 日前	出穂 15 日前	
平 坦	ひとめぼれ	8/2~4	—	—	7/13~15 1.5kg	—
	はえぬき	8/3~5	—	7/9~11 2.0kg	—	—
	雪 若 丸	8/2~4	—	7/8~10 1.5kg	—	—
	つ や 姫	8/8~10	7/9~11 1.5kg(有機入り化成肥料を使用する場合)	—	—	—
	コシヒカリ	8/8~10	—	—	—	7/19~26 1.5kg
中山間	あきたこまち	7/31~8/4	—	—	7/11~15 2.0kg	—

- ・葉色が濃い圃場は減肥対応とし、玄米粗タンパク質含有率の上昇を防ぎましょう。
- ・雪若丸に補完追肥を行った圃場は、施用した窒素分を穂肥窒素量から減肥しましょう。

中干し～出穂期までの水管理～

- ・中干し終了後は、**飽水管理**(足跡に水がにじみ出る程度)した後、徐々に**間断かん水(2日湛水、2日落水)**に移行します。幼穂形成期(出穂 25 日前頃)～穂揃期は**水分や酸素を多く必要とする**ため、**出穂期まで間断かん水を継続**しましょう。
- ・間断かん水は、「うわ根」の伸長を促し、穂肥窒素の利用効率を高める効果があります。

一発肥料を施用した圃場は「中干し」で生育量を調整します。茎数が多い圃場や葉色が濃い圃場では、「やや強めの中干し」で生育の制御を行いましょう。

斑点米カメムシ類対策

- ・斑点米カメムシ類の発生が**多くなっています!**
- ・畦畔と圃場周辺の草刈り、除草剤散布を行い、**発生源をなく**しましょう!
- ・出穂間近の草刈りは、カメムシ類を水田に追い込んでしまうので、出穂 2 週間前頃には終了しましょう。

【草刈り強化期間 7 月 10 日～20 日】

- ・水田内にヒエ、ホタルイ等が残っている場合は、**残草対策を徹底**しましょう!

地域ぐるみで草刈りに取り組むことが重要です!
地域全体でカメムシ被害防止を図りましょう!



いもち病対策

- ・育苗箱施用薬剤の持続効果は 7 月上旬～中旬頃のため、7 月中旬以降はいもち病の発生リスクが高まります。
→**7 月中旬以降、早めに予防剤を散布**しましょう!
- ・圃場をよく見回り、**早期発見、早期防除**を徹底しましょう!



葉いもちの病斑

「熱中症」に要注意!
暑い日が続く予報です!

こまめな“休憩”、こまめな“水分補給”で
「熱中症」を防止しましょう!

管内の稲作情報を
LINEに掲載しています!

QRコードを読み込んで、
グループ登録をして下さい。

